

かるがも通信

6月号



6月に入り、じめじめした梅雨の季節が近づいてきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか？
あじさいも、かたつむりもお水が大好きです！
外で遊べない日が多い月ですが、プールで元気に遊びましょう!!

連絡事項

病気の予防 ～とびひ（伝染性膿痂疹）～

「とびひ」は傷口やかき壊した部分に、主に黄色ブドウ球菌（健康な人の皮膚の表面や鼻の中等にいる常在菌）が入り、透明な水ぶくれができる皮膚病です。強いかゆみを伴い、病変部位から出た膿で、次々に広がって行くことから「とびひ」と呼ばれています。



予 防

- 虫や蚊に刺されたら、できるだけ早く治療しましょう。
- 鼻の中を触った手で、傷口等をあまり触らないようにしましょう。
- 日頃から爪を短く切り、手洗いを習慣化しましょう。

入 浴

- 患部が乾燥するまでは入浴はさけ、シャワーにしましょう。
- 石鹸をよく泡立てて洗い、泡でていねいに洗います。シャワーでは菌を洗い流しましょう。
- タオルや衣類はとびひが移る可能性があるため、共用はさけましょう。

治 療

- 主に抗菌薬を使って治療します。必要に応じてかゆみをおさえる薬なども使われます。ひどくならないうちに治療を始めると、より早く治すことができます。気になる症状があれば、早めに皮膚科や小児科を受診しましょう。

とびひにかかったら・・・

- 「とびひ」が治るまでは、プールなどは禁止です。
- 水ぶくれをやぶいたり、膿が他の人につかないように、薬を塗ってガーゼなどで覆いましょう。

歯みがき ～歯みがきの仕方～



歯みがき習慣は赤ちゃんのときからスタート。
まずママが、1日1回ていねいに行いましょう。

- ①歯が生えそろうまでは、保護者様のひざに寝かせてみがいてあげます。
- ②いやがるときはマネごとでもOK。習慣にすることが大切です。
- ③「食べたらみがく」が基本ですが、特に大事なのが就寝前。寝ている間は唾液の量が減って、むし歯になりやすいので、夜寝る前やお昼寝の前など、1日1回はていねいにみがいてあげましょう。

Point 1



—上の前歯—

上唇の裏の筋にハブラシがあたると痛がるので、ひとさし指でそっとおさえてガードしながらみがきます。

Point 2



—奥歯—

ハブラシが歯に十分に届くよう、ひとさし指でほったをふくらませてみがきます。

